

モンゴル近況 2018年8月

政治

- 1)官僚地位斡旋の600億Tg事件の処理を求め26人の国会議員が大統領と議長にレターを提出、臨時国会開催を求めたが、法務常任委員会が開催の法的根拠がないと回答。
- 2)モンゴル政府は、西日本で発生した自然災害に10万ドルの援助を提供する事を決めた。
- 3)エルデネット国営会社は国際裁判所の判決により投資したスタンダード銀行に9800万ドルを支払うことを義務づけられた。
- 4)政府は市民に給与・年金を担保にした融資の規則が改正した。返済額は月収の7割を超えない事が明記された。
- 5)政府が51%以上をタバントルゴイ鉄道会社を設立し、タバントルゴイーがショーンズハイト間の鉄道建設権(5年間)を同社に与える事を決めた。

経済

- 1)オユトルゴイ鉱山会社は地下資源の開発により銅精鉱の販売量が19%増加した。
- 2)政府はアジア開発銀行から6000万ドルの融資を受ける事を決めた。

社会

- 1)7月17日モンゴル各地でゲリラ豪雨があり、洪水で道路、橋などに被害が発生した。
- 2)トルコの情報機関によるモンゴル・トルコ学校のベイセル アケイ学長の誘拐未遂事件の捜査が続いているがトルコ側は全面否定している。
- 3)米国で‘Mongolia Third Neighbor Trade Act 法案が議会で提出された。

教育文化

モンゴル航空 MIAT は西日本災害に対して在日モンゴル人のボランティア参加を呼び掛けた。